

(別添2)

【高原町】 校務DX計画

1 高原町における校務DXについての取組について

高原町における校務DXの取組については、校務の効率化を主体として、を以下の4つを設定し今後、推進していく。

①授業支援ツールを活用した授業の効率化

教職員の業務の負担軽減を図る一つの方法としての授業支援ツールを活用し、効率化を図る。

②校務DXを進めるための教職員への教育、情報共有等

教職員のITリテラシーがいまだ不足していることから、ICT支援員を活用して教職員への教育を進め、最終的にはICT支援員の支援を少なくできるようにITリテラシーを向上させる。

③ペーパーレス等の基本的な提出物等のデジタル化

各種提出物や規則において提出をお願いしているものについて紙での提出を可能な限り減らし、デジタルデータでの提出でも可能とするよう規則改正などを進めていく。

④保護者への各種連絡等のより一層のシステム活用推進

保護者への連絡やアンケート、出欠確認をデジタルツールにより行い、電話やファックスによるやり取りを削減する。また、スクールバスの乗降等についてもシステムを導入し効率化を図る。

2 校務DXを進める上での課題と検討事項について

今現在の校務の在り方について、紙媒体での届出の必要があるものが多く、押印が必要なものも多い状況である。

また、電話やFAXによるやり取りも一定程度存在し、教職員の校務の負担となっている。

デジタル化を推進し、教職員の負担軽減を図ることは必要である。

その一方で、各種システムの導入には経費が必要となり、昨今の物価高騰等のあおりを受け導入及び運用経費が増加傾向となっている。

また、教職員のITリテラシーが伴わないと、新しいシステムを使いこなせない状況になることが考えられる。最小限の経費で最大限の効果を出せるように検討しないといけない事項があると考える。